

2020.08.05

【英国】 デジタル・文化・メディア・スポーツ省と司法省、コロナウイルス危機中は脆弱な犯罪被害者をサポートするウェブサイトへゼロレーティングを適用することで、主要通信事業者と合意

デジタル・文化・メディア・スポーツ省（DCMS）と司法省は、6月11日、新型コロナウイルスの危機中は、脆弱な犯罪被害者をサポートする特定のウェブサイトへのアクセスに対して、データ利用料が無料になるゼロレーティングを適用することで主要通信事業者と合意したことを発表した。

英国の主要通信事業者である EE、ボーダフォン、O2、スリー、スカイモバイル、バージンメディア、テスコモバイル及びギフガフは、パンデミック中に脆弱な人々をサポートするという、通信業界からの一連の取組みの一つとして、一部の慈善団体から報告のあったロックダウン中にアクセスが大幅に増加したウェブサイトにもゼロレーティングを適用する。

一部の被害者にとっては、ロックダウンの指示は不安の主な原因となっている可能性があり、社会的距離を保つための措置では、組織が対面でサポートを提供することが難しくなっている。

ゼロレーティングの対象となるウェブサイトは以下の通り。

- * 被害者や犯罪目撃者への支援（www.victimsupport.org.uk）
- * 性的暴力や虐待の被害者への支援（www.rapecrisis.org.uk、
www.thesurvivorstrust.org、www.malesurvivor.co.uk）
- * 家庭内暴力の被害者への支援（www.refuge.org.uk、nationaldahelpline.org.uk、
www.womensaid.org.uk、www.welshwomensaid.org.uk）
- * 虐待に苦しむ子供たちへの支援（www.nspcc.org.uk）

一部の通信事業者は、NHS のウェブサイトやその他の支援ウェブサイトに対して、すでにゼロレーティングを適用している。また、今回の措置は、少なくとも 2020 年 10 月 31 日まで適用される。